

お客様各位

カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願ひ申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日

ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

RENESAS TECHNICAL UPDATE

〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-6-2 日本ビル
株式会社 ルネサス テクノロジ問合せ窓口 <http://japan.renesas.com/inquiry>E-mail: csc@renesas.com

製品分類	MPU&MCU	発行番号	TN-SH7-A689A/J	Rev.	第1版
題名	SH7785 DMAC フラグビット使用上の注意事項		情報分類	技術情報	
適用製品	SH7785 グループ	対象ロット等	関連資料	SH7785 ハードウェアマニュアル Rev.1.00 2008年1月10日 (REJ09B0261-0100)	
		全ロット			

SH7785 の DMAC に関して、HE、TE、AE、NMIF の各フラグビット使用上の注意事項があります。

【内 容】

DMAC において、チャンネルコントロールレジスタのハーフエンドフラグおよびトランスファエンドフラグ(CHCRm.HE および CHCRn.TE、m=0~3、6~9、n=0~11)、DMA オペレーションレジスタのアドレスエラーフラグおよび NMI フラグ(DMAOR0/1.AE および DMAOR0/1.NMIF)に関して、当該フラグが1にセットされるタイミングで読み出しを行うと、0が読み出されますが、内部的に1を読み出した状態となる場合があります。そのため、0の書き込みを行うと、当該フラグが1の読み出し後の0書き込みと同じ状態となり、0にクリアされることがあります。

【回避方法】

当該フラグを使用する場合は、意図せずにビットをクリアしないように以下の方法で読み出し、書き込みを行ってください。当該レジスタの書き込み時は、明示的にクリアする時以外は当該ビットへ1の書き込みを行い、明示的にクリアする時のみ1の読み出し後の0書き込みを行ってください。該当ビットへの1の書き込みはフラグの値に影響を及ぼしません。

なお、当該フラグビットを使用しない場合は、常に0書き込み（明示的にクリアする時は1読み出し後の0書き込み）で問題ありません。

以 上